総合的な探究の時間　第15回(10/29)

プレゼン大会に向けて

目標： 周りの人と協働して、プレゼン大会を成功させよう。

〆切11/13(金)

　10/15～11/19

インタビュー新聞

**社会人サポーターインタビュー**

**＋**

**探究活動**

**11/26(木)** 　　　　　　　　　　 　　 **1/7(木)**

**プレゼン大会 予選**

**インタビュープレゼン**

**２/4　in教室**

**1/2８　in大体**

**社会人サポーター講演会**

**プレゼン大会 本選**

　社会人サポーターインタビューはどうでしたか？皆さんのために時間を作ってくれた人たちのためにも、

プレゼン大会を成功させよう!! 2大プレゼンについて説明を行っていきます。

**ⅰ） インタビュープレゼン　　　11/26(木)　in教室**

とは、社会人サポーターインタビューの報告会

　　　クラスを解体し、プロジェクターにインタビュー新聞を投影。

　　**インタビュー新聞を用いて、各班“4分”でサポーターについてプレゼン！**

　プレゼンを聞き、学校に招いてお話を聞きたい人を選んでいきます。

　さて、どんなサポーターがいて、どんな話をしてくれるのか！

　またとない機会です。しっかりインタビュープレゼンについて準備しよう！

　＋α　3学期のプレゼン大会に向けてのMISSION

**「　プレゼンの伝え方を工夫すること　」**

 　　今回のプレゼンの補助資料は、インタビュー新聞のみ。このプレゼンで差がつくのは、**“伝え方”** です。

　　　 そこで、プレゼン大会に向けてのステップupになるように周りにCHECKしてもらおう！

　　　 さらに、これはプレゼン大会本選への審査の1つである。



**JUDGE**

|  |  |
| --- | --- |
| 　CHECK項目 | 得点 |
| 話し方 | A(4): プレゼン全体の話し方がスムーズである。B(2): プレゼン全体の話し方が一部スムーズである。C(1): プレゼン全体の話し方が滞った。 | / 4 |
| 姿勢 | A(3): 常に聴衆を向いており、堂々としている。B(2): 聴衆を向くときもある。C(1): 台本を見て、下を向いている | / 3 |
| 声の大きさ | A(3):教室の後ろの人もしっかり聞き取れる大きさB(2)教室の中央の人が聞き取れる大きさC(1):教室の前の人が聞き取れる大きさ | / 3 |
| 合計 | /10 |
| コメント |

**ⅱ） 1/７(木)　in教室 1/28(木)　in大体育館**

**学年の上位10班**

**プレゼン大会予選　 プレゼン大会本選**

　　　日程変更!!　3学期に予選、本選を行い、**学年の1位**を決定します！　これまで活動してきた集大成！

　みんなと協働し、いかに“相手の心を動かすか”について多角的視点で考え、創造してください。

**発表時間　“予選 ４分”→“本選 ５分”**

企画書の提出〆切

11/12(木)

**発表方法　 紙芝居(KP法)、Googleスライド、パワーポイント　【別紙参照】**

　　　※準備において、学校からパソコンの貸し出しは、今のところできません。



**JUDGE**

|  |  |
| --- | --- |
| 審査項目 | 得点 |
| 伝え方 | A(10): 班員と協働し、プレゼン全体がとてもスムーズである。B( 7 ): プレゼン全体がスムーズである。C( 4 ): プレゼン全体が一部滞った。D( 1 ): プレゼン全体が滞った。 | / 10 |
| 資料 | A(10): 創造性にあふれており、資料が深く印象に残った。B( 7 ) : 資料が印象に残った。C( 4 ): 資料が少し印象に残った。D( 1 ): あまり資料が印象に残らなかった | /10 |
| 構成 | A(10): 相手を惹きつけるような展開であった。B( 7 ): 展開が工夫されている。C( 4 ): 展開に改善すべき点がある。D( 1 ): 展開がぐちゃぐちゃである。 | / 10 |
| 内容 | A(10): その主張に強く賛同する。B( 7 ): その主張に賛同する。C( 1 ): その主張に賛同しづらい。 | / 10 |

 ＋発表時間を評価します。

|  |
| --- |
| 発表時間が3分30秒から4分30秒である。　　　　　　　　⇒減点なし。発表時間が3分30秒より短い。または4分30秒より長い。　**⇒評価人数×６減点** |

　〔詳細説明〕

　・資料の印象とは、色やフォント、図など相手を惹きつけるための工夫がされている。

　・構成の展開とは、ただ話を整理するだけでなく、話の山場や落ちを作っている。

プレゼン大会本選に進出するためには、

学年の上位

10班

1st JUDGE

の得点

2nd JUDGE

の得点

　これまでの活動の集大成です。大体でプレゼンができるように頑張りましょう！